

事業所名

あっとほーむ小坂

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

21日

法人（事業所）理念	利用者や家族に寄り添い共に成長できる事業所を目指します。		
支援方針	障がいの種類や度合に関わらず特性を個性と捉え、ひとりひとりに合わせた支援を心掛け、褒めることで達成感や喜びを感じてもらいながら自己肯定感を高めます。スモールステップで成長を促し、できることが増えるよう支援します。できた喜びを共感し子どもだけでなく、保護者の方も安心して通うことができる事業所にします。		
営業時間	平日	学校終了後	から 18時00分
		送迎実施の有無	あり なし （自宅への送迎は要相談）
	学校休校日	9時00分	から 16時00分
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	来所持の手洗い・検温をし記録することで個々の健康管理をしています。また生活スキル向上の為、おやつや昼食時のテーブル拭きや消毒、食器洗い、タオルたたみ等の生活訓練を行います。	
	運動・感覚	日々の活動で音楽に合わせて体を動かしたり、ラジオ体操をする等全身を動かす運動をしています。ダンスでは表現することにより、感性や運動能力の発達を促します。また学習や食事の際、床に足が届かない利用者には姿勢保持の為、台を活用します。	
	認知・行動	一日の流れを決め、始まりの会で全員で確認をします。行動の切り替えにはタイマーを使用する等、視覚や聴覚を使って適切な行動の習得を目指します。	
	言語 コミュニケーション	絵カードを使ったコミュニケーションの取得や、ルールの理解が必要な遊びや集団活動をする事でコミュニケーション能力の向上を図ります。	
	人間関係 社会性	「こんな時どうする？」全体の活動としてSSTを実施し、子どもたち自身で考え、集団でのルールや他者理解を養います。また公共交通機関を使って外出し、公共の場でのルールやマナーを学び将来への利用につなげます。	
家族支援	LINEを使いその日の様子を写真と共に伝えています。家庭での様々な困りごと等気持ちに寄り添い、相談・助言を行います。	移行支援	進学・進級に合わせた課題へのアプローチをします。
地域支援・地域連携	学校へ訪問（授業参観）し、取り組んでいる課題の共有、情報交換を行います	職員の質の向上	朝礼・終礼・ケース会議での情報共有の取り組み、身体拘束・虐待防止委員会を設置し、定期的に委員会を開催しています。
主な行事等	外出行事・夏祭り・公共交通機関の練習・カラオケ・外食行事・クリスマス会・ハロウィン・調理実習・昼食購入体験・避難訓練など		